

授業科目名 <英訳>		遺伝カウンセラーコミュニケーション概論			担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 教授 小杉 眞司 非常勤講師 浦尾 充子				
配当 学年	専門職	単位数	3	開講年度・ 開講期	2016・ 通年不定	曜時限	水5・木1：開講日注意	授業 形態	講義・演習	使用 言語	日本語及び英語
<b>[授業の概要・目的]</b>											
<p><b>【基本情報】</b>  授業日時：前期水曜5限・木曜1限を隔週実施、後期木曜1限を隔週実施を原則とする（例外予定にご注意ください）  教室：G棟3階演習室  レベル：基礎  担当者：浦尾充子・村上裕美・鳥嶋雅子</p> <p><b>【コースの概要】</b>  遺伝カウンセラーとして、クライアント・家族の支援のためのコミュニケーションは勿論のこと、チーム医療のメンバーとして、異なった専門性を持つチームメンバーとのコミュニケーションのあり方についても学ぶ。授業の方法としては、講義により最低限必要と思われる概念と理論を学んだ上で、この領域は実践により得るところが特に大きいので、演習を実施する。演習については、授業の進行状況に応じて、ロールプレイ 試行カウンセリング ディスカッション 心理テスト実習 ビデオ学習など様々な方法を用いる予定である。（時間外の勉強会やホームワークも併せて行う）</p> <p><b>【教育・学習方法】</b>  必須テキストを予習し、レポート発表・提出  ・講義および演習  ・時間外に以下の学習も併せて行う。  ビデオ学習—「グロリアと3人のセラピスト」/医学部「遺伝医学」授業/試行カウンセリング実施および記録方法学習/遺伝カウンセリングと日本人のコミュニケーション発表会/心の病気の理解・心理療法基礎知識および心理テスト実習 /遺伝カウンセリングロールプレイ振り返り/病院実習振り返り</p>											
<b>[到達目標]</b>											
1. 遺伝カウンセラーとして、クライアント・家族をどのように支援していくのか最低限必要と考えられる知識及び態度を身につける。 2. 医療チームのメンバーとしてどのような動きをすることが望ましいか最低限必要な知識及び態度を身につける。											
<b>[授業計画と内容]</b>											
<前期> 【第1回】 4/13水5限 「遺伝カウンセリングのコミュニケーション：基本的な考え方」 【第2回】 4/14木1限 「遺伝カウンセリングの基本的態度と内側(内的照合枠)からの理解」 【第3回】 4/27水5限 「共感的理解を理解する」 【第4回】 4/28木1限 「遺伝カウンセリングの流れ及び信頼関係(ラポール)の形成」 【第5回】 5/18水5限 「ノンバーバルコミュニケーションの重要性」 【第6回】 6/1水5限 「電話受付の留意点」 【第7回】 6/2木1限 「臨床遺伝専門医とともに実施する遺伝カウンセリング」 【第8回】 6/15水5限 「遺伝カウンセリングにおける情報提供」 【第9回】 6/16木1限 「遺伝カウンセリングにおける意思決定」											
遺伝カウンセラーコミュニケーション概論(2)へ続く↓↓↓											

## 遺伝カウンセラーコミュニケーション概論(2)

【第10回】 6/29水5限 「医療ソーシャルワーカーの事例から学ぶ」

【第11回】 6/30木1限 「喪失体験の理解」

【第12回】 7/13水5限 「ライフステージとメンタルヘルス」

【第13回】 7/14木1限 「出生前診断に伴う遺伝カウンセリング」

<後期>

【第14回】 10/13木1限 「日本人のコミュニケーションと遺伝カウンセリング」

【第15回】 10/27木1限 「試行カウンセリングの振り返り」

【第16回】 11/10木1限 「家族面接における遺伝カウンセラーの役割」

【第17回】 12/1木1限 「遺伝カウンセリングの修了とフォローアップ」

【第18回】 12/15木1限 「遺伝カウンセリングにおける倫理」

【第19回】 1/12木1限 「障害と社会の理解」

【第19回】 1/26木1限 「遺伝カウンセリングと防御機制」

【第21回】 2/16木1限 「遺伝性の病とともに生きるということ」

### [履修要件]

遺伝カウンセラーコース 1 回生限定必修科目（事前確定科目）

### [成績評価の方法・観点及び達成度]

前期・後期あわせて終了時に評価する。

学習目標の到達度50%,レポート40%,プレゼンテーション10%

### [教科書]

\* 必須テキスト（必ず第1回目の授業までに必ず準備してください）：

・自分を見つめるカウンセリング・マインドヘルスケア・ワークの基本と展開（医歯薬出版）

ISBN: 978-4-263-23423-5

・カウンセリングを学ぶ（東京大学出版会）理論・体験・実習 第2版ISBN: 978-4-13-012045-6

・ヘルス・コミュニケーション(九州大学出版社) 改訂版 ISBN: 978-4798500164

・遺伝カウンセリングのためのコミュニケーション論（メディカル・ドゥ）2016年3月出版予定

### [参考書等]

（参考書）

### [授業外学習（予習・復習）等]

### （その他（オフィスアワー等））

授業内容に関する個別質問歓迎。メールで予約してください

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。